関西自然保護機構会報

13巻2号
(通算 22号)

目　　次

巻頭言

「若草山の山焼き」に思う……菅沼孝之……75

大気汚染と樹木の生理機能障害
—タンニン生合成および肥大生長の阻害—……加藤輝隆
河野昭一……77

日本平周辺のヒメアマツバメの生息状況……堀田昌伸……87

アフリカの自然保護における自然史博物館の役割……Joseph Olu Toriola……97

大阪府におけるニホンジカ保護運動……立沢史郎……103

会則……117

1992年2月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization of Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。